



令和7年度
福岡県建設産業魅力発信イベント

青春BUILD

福岡県 × ケンセツ × PHOTO



『青春ビルドプロジェクト』とは

普段、建設と全く関わりのない高校生が、
はじめての現場で、はじめて建設の世界と出会う。
その感動を写真に収め、多くの人に届ける。

「青春ビルドプロジェクト」は
行政と高校生がコラボしたプロジェクトです。
このプロジェクトは、デミー博士によって
九州各地で取り組まれています。

デミー博士/出水 享氏

福岡県建設産業PRプロデューサー



人の役に立つ新しいインフラを間近に！

芦屋町の橋の建設現場と水巻町の道路拡幅現場を見学しました。

開催日：令和7年9月25日(木)

場所：県道直方芦屋線 西祇園橋橋梁上部工工事現場（芦屋町）
（都）芦屋水巻中間線（頃末工区）道路拡幅工事現場（水巻町）

協力：(株)富士ピーエス、(株)宮崎組、(株)梅村組



土木編 福岡県立折尾高等学校 <写真部の生徒17名>

折尾高校写真部のみなさんはバスで、遠賀川河口近くの西祇園橋の架け替え工事現場へ。説明を聞いた後、コンクリートと鉄筋が交錯する橋の上でさっそく撮影。その後、学校近くの道路拡幅現場で、うなり音を立てる重機を間近にパチリ、パチリ！





「束の間の休息」

3年 三戸邊 丈誠

作業員さんがパイプに腰かけて休息しているところを撮りました。熱中症に気を付けてほしいです。



「街のために働いていく」

3年 山岡 早織

普段は詳しく知られることの少ない職業かもしれないが、私たちの暮らしのために陰でも働く姿が印象的でした。



「ごめんなさい(_)」

3年 吉田 優香

でかい機械が物を破壊するところを目の前で見ることができました。そのときに壊した後のたずまいが、謝っているように見えたのでこれにしました。すごい技術で感動しました。



「軌跡を測る手」

2年 緒方 葵

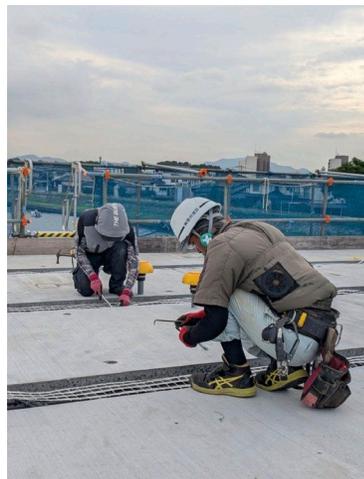
機械の便利さを語ってくださりましたが、現場では便利さの横で長年培われた技術が光っていました。経験が道を創る様がファインダー越しに伝わりました。



「未来を下からも造る」

2年 村田 結彩

作業員さんの安全を十分に気を付けながら、未来に残っていく橋を下から造り上げていきます。橋を渡る皆が安心して渡れるように土台からしっかり組み立てていきます。



「仲間と築く」

2年 村上 紗彩

二人の作業員の方が橋の建設をしているところを撮りました。二人で協力して作業を行っていたので、見えない絆が感じられて素敵だと思い、この写真を選びました。



「空に近い仕事」

2年 外山 花暖

空と作業員の方が一緒に写っている写真を撮りました。空に近くらしいの高さで作業されていてすごいと思いました。



「橋を造る人」

1年 笠飯 友愛

この写真では、丁寧かつきれいに橋を仕上げていく工事現場の人の写真です。また、この写真から車や人が安心して通れる橋を造っているんだなと感じました。



「未来の道」

1年 山口 美咲

人が一生懸命に作業をしている姿を見てとても努力していることが伝わりました。自分も頑張ろうと感じました。



「作業中！」

2年 細川三希

暑い中、長袖で作業を頑張っている作業員さんを撮りました。私たちが便利な暮らしをできているのは作業員さんの苦勞のおかげだと改めて感謝しました。



「語らい」

2年 山田湊統

作業をひと段落終えた二人の作業員さんの何気ない語らい、空に夜のとぼりが下りる前の何気なくも特別な時間の一コマ。



「現場の太陽」

2年 大草 柚葉

周りもほっこりするような笑顔や言葉が詰まっています。太陽のような明るさで私たちも元気づけられました。暗いイメージだった現場も明るく見えました。



「陰で輝く大仕事」

2年 田島日愛

工事現場の清掃は、まさに陰の大仕事。安全で快適な現場を支える、とても大切な作業だと伝わります。



「救世主」

1年 原口 綺海

ショベルカーに光が当たっていて、ショベルカー自体もショベルカーを動かしている人も、みんなのヒーローみたいでかっこよかったです。道路が壊れそうなところに駆けつけてみんなを守っているんだなと思いました。



「頼れる背中」

1年 今田 馨翔

作業員の真剣な表情をとらえただけでなく、背景の街並みと一緒に写すことで写真全体がより引き立ち、魅力的な一枚になりました。



「街を作る手」

1年 寺司 百花

一つ一つの作業が集まって、やがて街になっていく。そんな思いがこもった手の姿の写真です。



「機械の指揮者」

1年 野崎 友乃

重機を操る姿に、都市を築く力強さと職人の誇りを感じました。

天神のド真ん中で、未来の現場を実感！

「イムズ」跡地の再開発区画を見学しました。

開催日：令和7年11月22日(土)

場所：(仮称)天神1-7計画新築工事現場(福岡市中央区天神一丁目)

協力：株式会社三菱地所設計、株式会社大林組

建築編

福岡大学附属若葉高等学校

<写真部等の生徒13名>

福岡市天神のド真ん中、高層ビルの建築現場に集合した若葉高校のみなさん。ヘルメットをかぶって、巨大な鉄骨がそそり立つ光景を見上げて次々にシャッター。見慣れた街中とはまるで別世界に、ワクワク、ドキドキしながら撮影に熱中!





「みんなの安全を守ります」

2年 白田 桜

交通整備をしている人をよく見かけるけど、この人たちのおかげで工事私たちの生活も守られているとわかった。



「見守る」

2年 平田 元悠

しっかりと工事を見守ってくれるからこそ安全にできるのだと思います。



「頑張れ」

2年 古市 琥太郎

高い所ですごく頑張っていると思いました。



「テンジン！」

2年 旭 柚

クレーンを真下から見る機会はないので、どのような形になっているかを知ることができました。普段見ることができないところをしっかりと収めようと写真に残しました。



「まなざし」

2年 古賀 桜

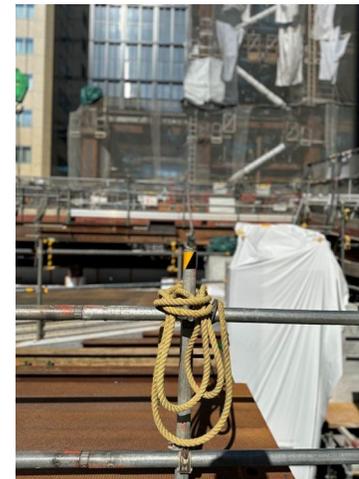
工事全体を見渡しながら周囲の安全を確認している様子。



「圧倒」

2年 松村 龍之介

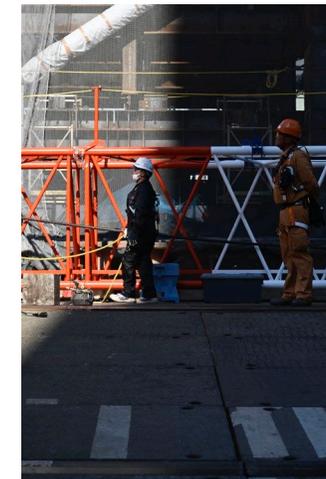
下から見たらとても大きな建物だったみたいな写真が撮れたのでよかったです。



「ぼっちロープ」

2年 論手 まゆ

建設現場の多くの場面でロープが使われているのを見て、ここに掛けられているロープが休憩しているような様子だと感じた。



「明るい」

2年 王 浩茗

明暗のコントラストが強く、背景の赤と白と人物のコントラストがあり、人物の視線も一点に集まる。



「みんなの夢、建設中。」

1年 大熊 藍

『青春ビルドプロジェクト』を通して、建設業は夢を形にでき、また、みんなの夢が建物を造り上げていくことを学び、それを自分なりに表現しました。青空とクレーンの対比が個人的にとっても気に入っています。



「事件発生！」

1年 樗木 香蓮

どんどん人が集まってきて、何か事件がおこったのかなと思いました。どんどん人が集まっていくのが作業員のチームを感じて素敵だと思いました。



「確認はしっかりと」

1年 志柿 友菜

普段私たちが利用している建築物が作業員の入念な確認によって、安全に過ごせていたんだと思いました。今まで特に考えなかったけれど、見えないところで私たちのために働いている人がいるということが分かりました。



「建設中の未来」

1年 平野 夏蓮

天神ビックバンで完成したビルが近くにあって、建設中やこれから建設されるビルがあつたりして、どんどん街が変わっていくのを感じました。どんな天神になるか楽しみです！



「高く、遠く」

1年 宮崎 彩音

高くそびえ立つビルを見て、まだ建設途中であるにもかかわらず、人間がこれほど大きなものをつくれることに深く感銘を受けました。その一瞬を残したくて、思わず写真を撮りました。